

平成30年度 第6回西日本放送番組審議会

開催年月日 平成30年10月9日（火）14:00～16:00
開催場所 西日本放送高松本社 5階役員会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 6名

出席委員の氏名

高	嶋	克	洋	委員長
河	藤	明	子	委員
鈴	森	賢	史	委員
大	倉	美	恵	委員
守	家	祥	司	委員
藤	村	晶	彦	委員

欠席委員の氏名

佃	昌	道	委員
森	下	聖	委員

講師

日本テレビ放送網株式会社
報道局 ニュースセンター専任部長
谷原 和憲 氏

社側の出席者

中	村	卓	朗	（代表取締役社長）
富	永		久	（取締役総務局長）
吉	岡	邦	男	（監査役）
中	川	洋	一	（営業局長）
小	野	修	一	（報道制作局長）
田	中	哲	也	（ラジオセンター長）
吉	田		剛	（報道制作部長）

事務局

和	家	剛	（編成業務部長兼放送審議室長）
香	川	宏	（編成業務部兼放送審議室）
山	本	子	（放送審議室）

平成30年度第6回番組審議会議事次第

開催日 平成30年10月9日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送高松本社 5階役員会議室

〔議 事〕

議事進行 高嶋克洋委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 講演

講 師 日本テレビ放送網株式会社

報道局 ニュースセンター専任部長

谷原 和憲 氏

演 題 『 災害報道 被災地を守る

～極端化・巨大化に向き合う放送局～ 』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

- 社報 No.451
- タイムテーブル 秋号
- 視聴者対応 8月
- 平成30年度第4回番組審議会議事録
- BPO 報告 No.192
- 民間放送(新聞) 9月13日・9月23日

〔次回開催予定〕

開催日 平成30年11月20日(火) 14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

TEL 086-244-0111

議 題 テレビ番組

『 65周年記念!ありがとう!未来へカケハシル 』

放送日 平成30年10月13日(土)

(第一部) 10:30～11:25

(第二部) 12:30～15:00

※後ほどDVDをお送り致します。尚、ご視聴いただくものは編集したものととなります。

制 作 RNC西日本放送テレビ

以上

H30/10/9 議事概要

今回は、日本テレビ放送網株式会社 報道局ニュースセンター専任部長 谷原和憲様をお招きして、『災害報道 被災地を守る ～極端化・巨大化に向き合う放送局～』と題して講演をしていただきました。

テレビに出来ることとは、早く・不特定多数に同時に・音声と画像で伝えることができるのがテレビの強みである。最優先は、「生命を守る。」東日本大震災では、「津波優先」が一番の教訓である。また、西日本豪雨では、ハザードマップに記された氾濫すると浸水する地域が、見事に一致し、ハザードマップ通りと報道されたがこの地域の人で、亡くなった方がいる。ハザードマップを見るきっかけはどこでやればいいのか。ハザードマップを見るきっかけを、どこかの情報が担うというのは、西日本豪雨の教訓になるのではないか。などの西日本豪雨関連のお話や過去の災害からの教訓や訓練についてもお話をうかがいました。

委員の皆さまからは、インバウンドが盛んになっている上オリンピックの間近のため、海外の人がたくさん日本に来られるが、その人たちが被災したとき、どう情報を得るかがこれからの問題ではないかと思う。アナウンサーが避難ではなく「命を守るために逃げてください」というのは、外国人にもわかりやすいので、非常にいい取り組みだと思う。西日本豪雨当日は、携帯で緊急速報が鳴りっ放しでしたが、テレビをみてもあまりその情報がなかったので、温度差を感じた。等ご意見やご質問がありました。